

佐賀市の水産業

(令和6年3月31日)

佐賀市農林水産部水産振興課
川副支所

TEL : 0952-45-8917

FAX : 0952-45-8921

e-mail : suisan@city.saga.lg.jp

1 水産業の特徴

佐賀市の水産業は、有明海でのノリ養殖が盛んで、全国でもトップクラスの生産量、額を誇ります。

有明海は、遠く阿蘇山や九重山からは筑後川、背振山から嘉瀬川、天山から六角川、多良岳から流れでる塩田川、矢部川などの大きな川が、栄養豊かな水と土砂を運んでくれるため、とても豊かな海となっています。

また、有明海は干満の差が大きいことで有名です。漁場は、湾の一番奥に位置し、大きな干満の差は川の真水と海の塩水をノリ養殖に適した濃度に調整したり、養分や酸素を供給してくれます。

さらに、潮が引けば、沖合い5 kmに及ぶ広大な干潟が広がります。そこにはムツゴロウやワラスボなど有明海だけにしかない不思議な生き物が生息しています。

佐賀市のノリ養殖は、漁場に支柱を建ててノリ網を固定し、一日に2回日光にあてることによって“佐賀ノリ”独特のうまみと柔らかさをつくり出しています。このように、恵まれた漁場で生産された佐賀市のノリは、令和4年度の生産額が約135億円と国内有数の産地となっています。



ムツゴロウ



ワラスボ

2 主な水産業

(1) 魚種別陸揚量 (令和4年：港勢調査)

漁業種類	陸揚量 (属地数量) : t	陸揚金額 (属地数量) : 百万円
海面養殖業 (ノリ養殖)	44,317.9	17,153
その他の漁業 (魚貝類)	279.2	53
計	44,597.1	17,206

3 佐賀市の漁港 (4漁港8箇所)



4 漁港の概要 (令和4年：港勢調査)

(1) 戸ヶ里・寺井津漁港 (第2種漁港)

①漁港の指定 昭和27年 5月28日 (農林省告示第230号)

②漁港管理者の指定 昭和30年 9月 7日 (川副町告示第406号)

陸揚量 29,109.1 t

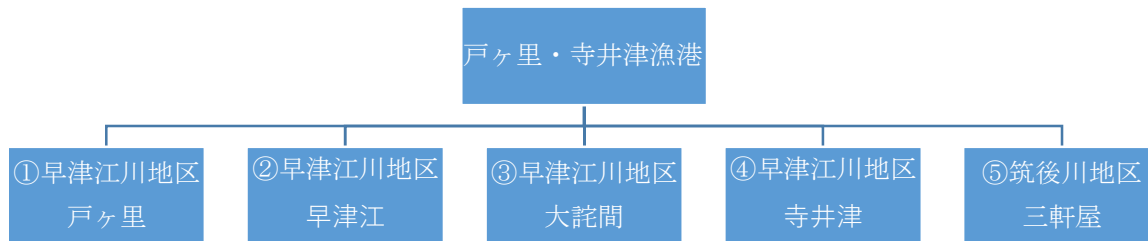
陸揚金額 11,086百万円

登録漁船隻数 3 t 未満 314 隻

(令和4年：港勢調査) 3～5 t 274 隻

5～10 t 12 隻

10～20 t 2 隻



①早津江川地区【戸ヶ里】

漁港の所在 佐賀県佐賀市川副町大字犬井道字戸ヶ里

関係漁協 佐賀県有明海漁協諸富町支所、南川副支所、広江支所

主な施設

護岸	78 m	道路	3,149 m
物揚場	1,778 m	船揚場	145 m
栈橋	1,086 m	漁船保管施設用地	18,800 m ²
橋梁	28 m		



②早津江川地区【早津江】

漁港の所在 佐賀県佐賀市川副町大字早津江

関係漁協 佐賀県有明海漁協早津江支所

主な施設

物揚場	808 m	道路	915 m
棧橋	516 m		



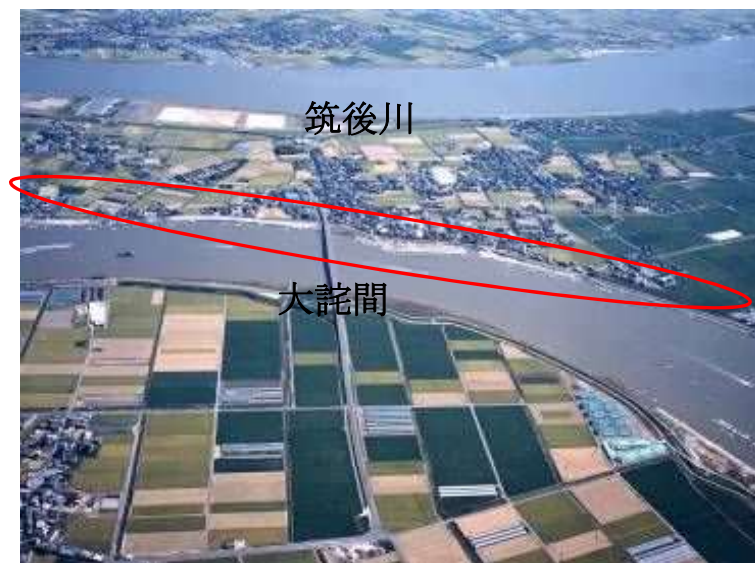
③早津江川地区【大詫間】

漁港の所在 佐賀県佐賀市川副町大字大詫間字海路端

関係漁協 佐賀県有明海漁協大詫間支所

主な施設

物揚場	476 m	道路	1,067 m
棧橋	348 m	船揚場	20 m



④早津江川地区【寺井津】

漁港の所在 佐賀県佐賀市諸富町大字寺井津字搦

関係漁協 佐賀県有明海漁協諸富町支所

主な施設

物揚場	5 6 6 m	道 路	9 3 9 m
棧 橋	3 2 7 m	船揚場	4 2 m



⑤筑後川地区【三軒屋】

漁港の所在 佐賀県佐賀市川副町大字大詫間字三軒屋

関係漁協 佐賀県有明海漁協大詫間支所

主な施設

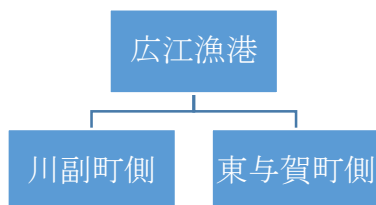
物揚場	4 9 9 m	道 路	4 9 7 m
棧 橋	1 7 3 m	船揚場	3 0 m



(3) 広江漁港 (第1種漁港)

- ①漁港の所在 佐賀県佐賀市川副町大字小々森字広江
東与賀町大字下古賀字年徳搦
- ②漁港の指定 昭和27年 5月28日 (農林省告示第230号)
- ③漁港管理者の指定 昭和32年 5月26日 (佐賀県告示第205号)

陸揚量 11,358.3 t
 陸揚金額 4,351百万円
 登録漁船隻数 3 t未満 148隻
 (令和4年:港勢調査) 3~5 t 136隻
 5~10 t 3隻



関係漁協 佐賀県有明海漁協広江支所、東与賀町支所

主な施設

物揚場	1,643 m	道路	2,345 m
棧橋	565 m	加工場用地	33,344 m ²
船揚場	100 m	橋梁	30 m
航路	6,400 m		



(5) 福所江漁港 (第1種漁港)

- ①漁港の所在 佐賀県佐賀市久保田町大字江戸
小城市芦刈町大字下古賀
- ②漁港の指定 昭和53年12月6日 (農林省告示第555号)
- ③漁港管理者の指定 昭和54年2月21日 (佐賀県告示第327号)

陸揚量 1,931.4 t (久保田町分)
 陸揚金額 596百万円 (久保田町分)
 登録漁船隻数 3 t未満 39隻
 (令和4年:港勢調査) 3~5 t 29隻

関係漁協 佐賀県有明海漁協久保田町支所、(芦刈支所)

主な施設 (久保田町分)

物揚場	35 m	棧橋	158 m
船揚場	30 m		



5 漁港の風景

佐賀市の漁港は河川に位置しています。有明海は浮泥の堆積が著しく港はすぐに埋まってしまう。

広江漁港



狭い川の河口を漁港として利用しているため、漁船がひしめき合っています。

戸ヶ里漁港



台風が接近し漁船が入江に避難している状況。避難場所が少ないため、漁船が密集している。

漁船保管施設



漁船の避難用に整備した陸上の施設に、台風を避けるため避難している状況。

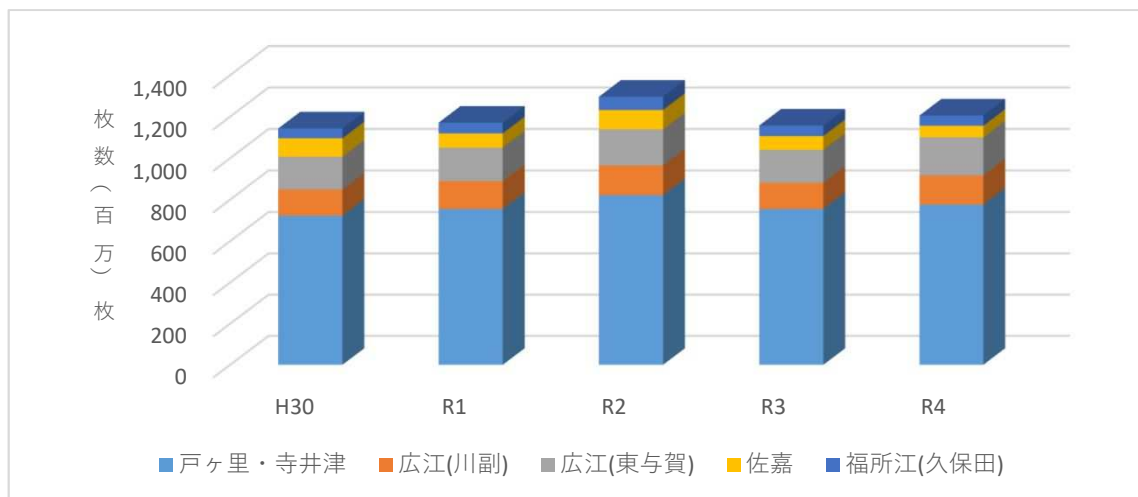
6 佐賀県有明海漁業協同組合佐賀市管内支所一覧

(令和4年：港勢調査)

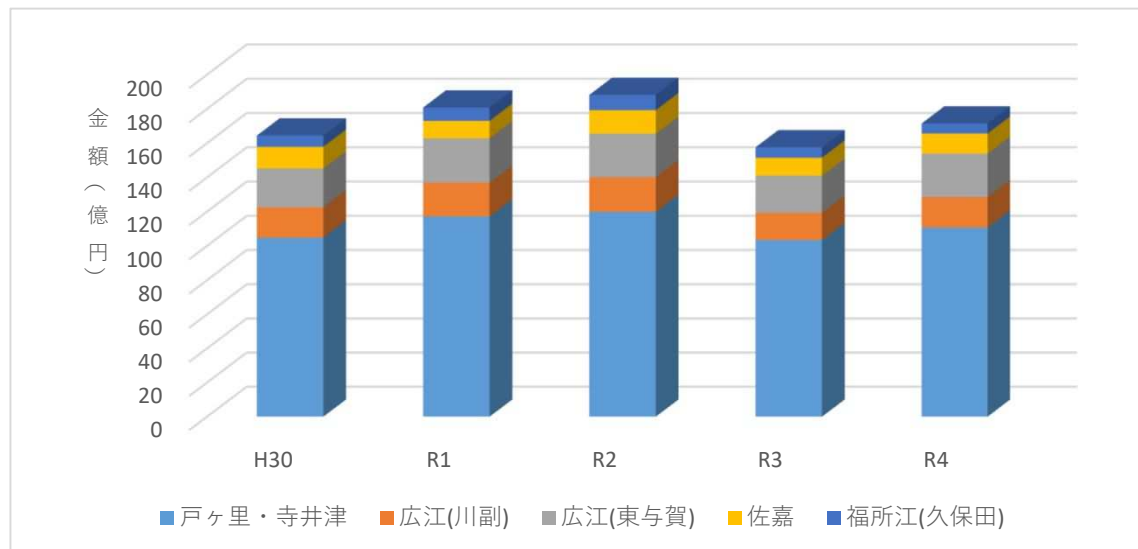
支所	正組合員数	漁家数	経営体数
諸富町	98	50	50
早津江	49	28	28
大詫間	133	79	79
南川副	230	143	132
広江	111	57	57
東与賀町	114	75	75
佐賀市	58	53	44
久保田町	27	35	28
計	820	520	493

7 市内の海苔生産

(1) 生産枚数 (全国で約48億枚)



(2) 生産金額



8 海苔ができるまで



①カキ殻入れ

ノリの糸状体を培養されたカキ殻をビニール袋（通称「落下傘」）に入れ、網にとりつけます。



②種付け

「落下傘」をつけたノリ網を約30枚ずつ重ねて漁場に張り込みます。



③展開

網にノリ芽が付着したら、重ねていた網を数枚ずつ広げ展開します。



④網洗い

網に付着した汚れを落とすため、網を洗います。



⑤干出

潮の干満を利用し、日光と潮風を浴び乾かします。干出を繰り返すことによりノリが丈夫に育ちます。



⑥秋芽網（1枚張り）

ノリの網は、ノリの成長具合で展開していきます最後は1枚張りにします。



⑦冷凍網干し

秋芽ノリの収穫後、冷凍ノリ用として再度漁場に張り込む（農業でいう二期作）ため、約半分の網を一時引き上げ、乾燥させた後、冷凍庫で保管します。



⑧摘採

種付けから1ヶ月ほど経過して十分に成長したノリを摘み取ります。（秋芽ノリ2～3回、冷凍ノリ5～7回）



⑨製造

各漁家、協業化施設などで一定の大きさの「板海苔」に加工されます。



⑩検査

「板海苔」にされたノリは漁協に持ち込まれ検査員により品質検査を受けます。「色あい」や「つや」が検査されて60にもおよぶ等級に格付されます。



⑪入札

品質検査が終わったノリは、漁協本所に運ばれ入札に上場されます。

入札は、12月から翌4月まで行われます。「秋芽ノリ」と「冷凍ノリ」あわせて毎月10回程度の入札会が開催されます。

9 海苔加工場の協業化

市内の協業化施設数

令和4年10月末

支所名	協業化施設整備数(ライン)	行使者数(経営体)	協業漁家数(経営体)	協業率
諸富町	9	49	33	67.3%
早津江	5	25	14	56.0%
大詫間	3	63	9	14.3%
南川副	27	127	80	63.0%
広江	11	56	42	75.0%
東与賀町	16	66	55	83.3%
佐賀市	10	31	30	96.8%
久保田町	6	18	17	94.4%
佐賀市全体	87	435	280	64.4%



施設外観



大型乾燥機

ノリ養殖の協業化とは

協業化とは、各漁業者で行っていたノリ養殖の作業を複数の漁業者がグループになり、共同で行うことです。協業化により各漁業者漁家にかかる経済的負担の軽減、労働時間の短縮が可能です。

たとえば、漁場での作業をグループで行えば、漁業者ごとに必要な漁船もグループで数隻を所有、維持、管理すればよくなりますし、加工、製造にかかる機械類も共同で購入、利用（ノリ共同化工場を整備）することでコストの削減と規模の拡大による生産性の向上が図られます。

また、従来繁忙期には各漁業者が連続して行っていた漁場での作業（種付けや展開、摘採）と陸上での作業（加工、製造）を分担して行うことで、労働時間の短縮につながるとともに、これまで以上に品質管理を徹底できるようになり、良質なノリの安定生産が期待されます。

10 佐賀市の内水面漁業

佐賀市内の河川（嘉瀬川や筑後川とその支流）には、やまめ・あゆ・ふな・うなぎ等の魚や、手長エビ・モクズカニが生息しています。

近年、河口堰や防潮樋門等による魚道の分断や水質の悪化により、これらの魚種は資源として枯渇する恐れがあるため、各地域の漁業協同組合では、定期的に稚魚、卵の放流を行い増殖を行っています。

やまめの放流



テナガエビの放流



うなぎの放流



市内の内水面漁業の漁業協同組合（令和5年3月現在）

- ◎ 古湯地区漁業協同組合 組合員数30名
- ◎ 佐賀県有明海漁業協同組合4支所 組合員数623名
（諸富町支所、早津江支所、大詫間支所、南川副支所）